

令和2年8月4日

【ペットセーバー講習会における感染予防対策について】

入室前の受講者に対して、検温(非接触電子体温計使用)、講習会場入場前に抗菌おしぼりの無料配付による手指の清拭と消毒用エタノールでの手指消毒実施、講習中はマスクの着用を御願ひしており、感染防止のため医療用手袋を無料配付して、ラテックスアレルギー以外の方には着用していただき、接触感染の予防を行っています。

会場施設については、会場近くのウイルスが飛散しやすいトイレのほか、ドアノブやエレベーターのボタンといった手がふれる物は、特に念入りに定期的に除菌して、感染被害の拡大を防いでいます。

※ラテックスアレルギーの方にはプラスチック手袋の着用、手洗いやエタノールでの手指消毒を御願ひしています。

また、ペットセーバー講習会場においては、厚生労働省クラスター対策班のご指導を受け、開催時の感染防止対策として下記の条件を満たして行っております。

1、会場の感染予防環境について

- ・会場入場前の手指や荷物、スマホ(アルコールやおしぼりなど)の消毒など。
- ・非接触体温計での体温チェック。
- ・風通しの良い会場空間(空調機による全体換気と窓やドアの開放など)環境確保。
- ・参加者全員がマスク着用し、救命法、救急法の実技での会話、質問、コメントする際は可能な限り、飛沫が飛ばないようにご配慮していただくことの周知。

●飛沫感染予防にマスク着用や咳エチケットの御願ひをしております。

https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/cough_etiquette.pdf

- ・会場の入り口ドアなど、人が手で触れる場所の定期消毒。
- ・受講者の特定。

2、受講者の感染予防を前提とした参加条件について

下記の症状がある方は受講をご遠慮いただくようお願いしております。

- ・かぜ症状や発熱、咳など症状が有る場合。
- ・家族に2週間以内(例)の新型コロナ蔓延エリアなど、海外からの帰国者がいる場合。
- ・息苦しさ(呼吸困難)、強いたるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
(症状が4日以上続く場合。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

救命法(心肺蘇生法、気道異物除去)、救急法(止血処置等)の講習の際、基本的には2人一組で行っていただいておりますが、感染予防対策として、どうしても一人で行いたい方は、受付時にお申し出いただけましたら、お一人で行うことも可能ですが、当日の受講者人数やお一人で行いたい方の数などによって、距離を保って道具の使用を交代するなど、調整させていただきます。

なお、講師はクリアマスクを着用したり、空調機吹き出し口の風下側に位置し、最前列の受講者と十分に距離を空けて、飛沫拡散防止について最大限に注意を払って講習を行うように務めますが、マスク内のガス交換不足による高炭酸ガス血症や熱中症予防のため、講習の途中でマスクの脱着や呼吸調整などを行う場合がございます。寛容にご理解いただけますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本国際動物救命救急協会
一般社団法人日本防災教育訓練センター
代表理事 Kamiya Sanae Sunny